

平成19年度病害虫発生予報第10号(1月予報)

＜お知らせ＞ トマト黄化葉巻病の防除対策に関するお知らせがあります(8頁参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

シロスジオサゾウムシ (アレカヤシ、さとうきび)

学名 : *Rhabdoscelus similis*

成虫 体長 約14mm



幼虫



(写真提供: 沖縄県農業研究センター)

さとうきび被害茎
(赤腐症状)



生態と被害

本種は1976年にトックリヤシモドキで発見され、1993年にはじめてさとうきびでの発生が確認された。成虫の体長は約14mm。全体に褐色で胸部の中央と上翅の中央及び左右に白い線がある。幼虫の頭部は明褐色、腹部は白色で、腹部後半が太くなる。終齢になると茎の繊維で繭をつくり蛹化する。25℃条件では、産卵されてから約85日で成虫になる。一年中各生育ステージが見られる。幼虫が茎に食入し、茎の繊維部を食害する。さとうきびでは、被害茎は赤腐症状を示し、原料茎としての価値が減少し、食害が激しい場合は枯死する。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。